

## 川越市都市計画マスタープラン見直し意見交換会(本庁地区)の結果について

### 〈意見交換会の概要〉

1. 開催日時 令和5年11月22日(水) 午後2時30分～4時00分
2. 開催場所 市役所7階会議室
3. 参加者 11名

### 〈項目別意見と市の考え方〉

いただいた主な意見を次のとおり項目別に分類し、市の考え方を記載しています。

#### 項目1 まちづくりのキャッチフレーズ

No.	意見
1	「川越」という言葉が入ると良い。
2	「時代がささやき」「風かおる」は通じない。具体的に表現して欲しい。
3	「時代」という言葉は色々な捉え方ができる。スケールが大きすぎて川越の歴史のどの時代をさすのかわからない。
4	観光客に対するものなのか。抽象的過ぎる。
5	現行と一切変わっていない。20年先に向けて、全く進まないということなのか。
6	20年経っているので、変化を表すべき。

#### 【市の考え方】

- ・本キャッチフレーズについては、平成12年現行マスタープランの策定時に、地域別のまちづくり協議会にて作成されたことを尊重し、次期マスタープランにおいても踏襲してまいりたいと考えています。
- ・本マスタープランでは各地区ごとにキャッチフレーズを記載しており、市全体を表す「川越」という言葉を本庁地区のキャッチフレーズとすることが適切であるか慎重に検討してまいります。
- ・キャッチフレーズの内容は概ね「目標」で具体的に表現されるものと考えます。本キャッチフレーズの「時代」とは、目標に記載されているように、「県南西部地域の拠点都市としてふさわしい情報・文化が集積する新しいまち」の時代と、「歴史があるまちがそれぞれに魅力的なまち」の時代を指すものであり、観光拠点である北部市街地のみを指すものではないと考えます。

## 項目2 まちづくりの目標

No.	意見
1	観光客が散策するために良くしようというふうに見える。市民の利便性を考えたまちづくりが必要。
2	バスは減少しているのに、「公共交通の充実」は現実と乖離している。
3	目標・取組に対する成果・評価は示しているのか。

### 【市の考え方】

- ・本目標は観光拠点である北部市街地だけでなく、県南西部地域の拠点都市として発展する方針について記載しています。
- ・「公共交通の充実」について、いただいたご意見を踏まえ、目標の修正を検討します。
- ・次期マスタープランの進捗管理・評価方法について、引き続き検討してまいります。

## 項目3 一般的なもの

### 〈内水対策について〉

No.	意見
1	内水問題への対策について記載すべき。

### 【市の考え方】

地域別構想素案〔(6)防災まちづくりの方針②〕において、「総合的な治水対策」として雨水貯留浸透施設等の設置について記載しており、内水対策も念頭に置いています。

### 〈総合計画との関係〉

No.	意見
1	総合計画と都市計画マスタープランの関係はどのようになっているのか。

### 【市の考え方】

総合計画は市の最上位計画であるため、都市計画マスタープランは総合計画に即して策定することとなっています。

#### 項目4 その他

No.	意見
1	本庁地区管内は広いため、3～4地区に分け、街区をつくることを望む。

#### 【市の考え方】

関係各課等と情報共有し、今後まちづくりの検討にあたり、参考とさせていただきます。